



本社移転を機に 社内システムをAWSへ移行

～ 物理的な資産（ハードウェア）を減らし、効率化された運用へ～
2020 年



経緯

本社を移転するにあたり、旧本社にあったサーバ室の移転が必要となりました。サーバ室では数十台の社内システムが管理されていましたが、「今後を見据え物理的な資産を減らしていきたい」という思いから、アマゾン ウェブ サービス（AWS）への移行を検討されました。

ハードウェアを持つ場合のよくある課題

1. 定期的な再構築

ハードウェア上にサーバを構築する場合、ハードウェアの保守が切れるタイミングでサーバを再構築する必要があります。そのため、約 5 ～ 6 年に 1 回はサーバの再構築という大がかりな保守作業とコストが発生します。

AWS を利用すると・・・

AWS にサーバを構築した場合、ハードウェアは AWS が管理しているため、お客さまによるハードウェアの管理が不要になります。これにより、**約 5 ～ 6 年に 1 回行っていたサーバの再構築から解放され、他の業務に注力できるようになります。**

2. 現状に合わないスペック

ハードウェアを購入する際、未来の利用状況を想定しハードウェアのスペックを選定します。しかし、実際には想定したほど利用されなかったことによるスペックの余剰や、想定以上の利用によるスペックの不足が発生します。

AWS を利用すると・・・

AWS 上に構築したサーバはその時々利用状況を踏まえスペックを変更することができます。このため、利用状況を適切に把握することで**スペックの余剰や不足の発生を抑えることができ、無駄なコストを省くことができます。**

適切な技術を活用することで運用を効率化できます。
ぜひ一度リウコムへご相談ください！

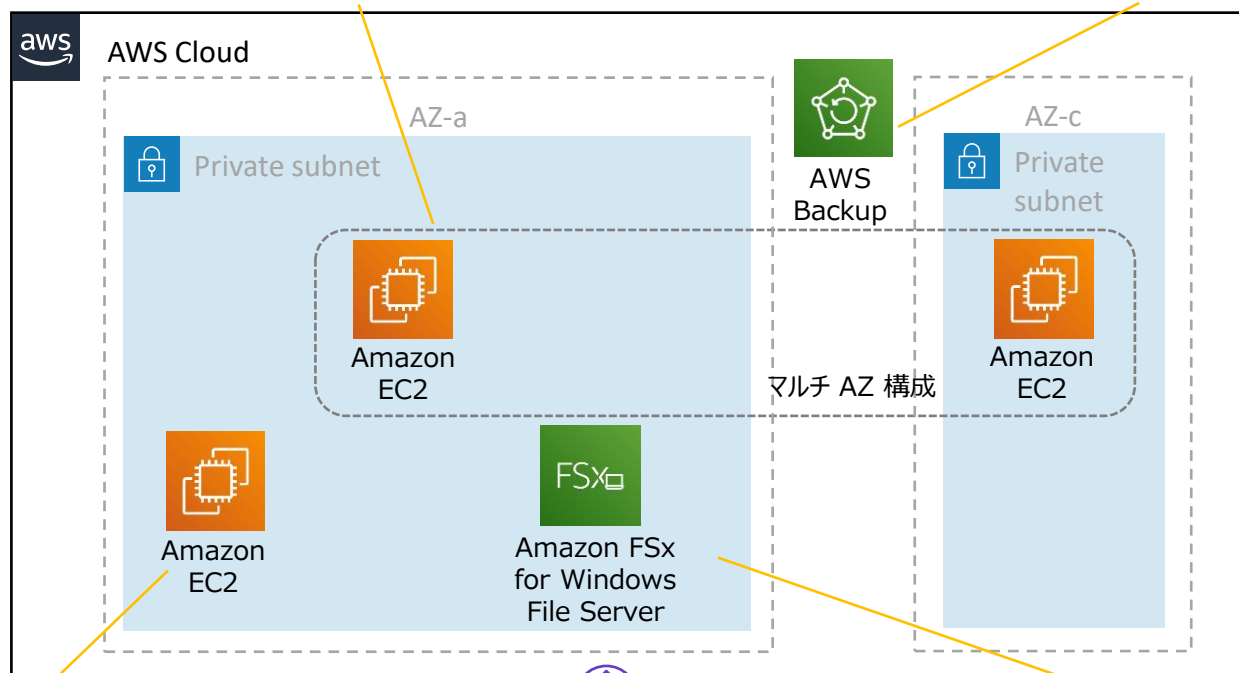
オリオンビール様の構成（概要）

ポイント ①

ActiveDirectory などの停止が許されないシステムについては、マルチ AZ 構成により冗長化します。

ポイント ②

AWS Backup を利用することで、バックアップの設定やバックアップされたリソースを一元管理できます。

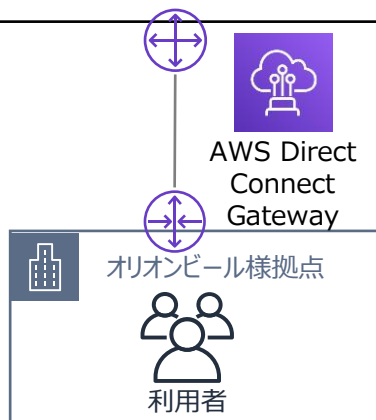


ポイント ③

現行サーバの状態を踏まえ、移行時に OS のバージョンアップなどを行うか（リプラットフォーム）、専用ホストなどを利用してそのまま移行するか（リホスト）を検討します。

ポイント ④

ファイルサーバなど各種マネージドサーバを活用することで、パッチの適用やバックアップを自動化でき、運用コストを削減できます。



お客様のシステム構成を確認させていただき、AWS を活用した最適な構成をご提案させていただきます。

お問い合わせはこちら



〒900-0015

沖縄県那覇市久茂地 1 丁目 7 番地 1 号
琉球リース総合ビル 11 階

☎ 098-869-5003

✉ aws_info@ryucom.co.jp

